

# 平成 27 年 度

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

## 事 業 報 告 書

I. 事業の状況	1
II. 処務の概要	7
III. 計算書類	10
貸借対照表	10
貸借対照表内訳表	11
正味財産増減計算書	12
正味財産増減計算書内訳表	13
財務諸表に対する注記	14
附属明細書	16
財産目録	17
監査報告書 (写)	18

公益財団法人 八雲環境科学振興財団

# I. 事業の状況

## 1. 助成事業

### 1-1. 環境研究助成事業

平成 27 年度 環境研究助成事業を下記のとおり実施した。

#### (1) 募集内容

自然環境の改善に寄与する研究に対する研究資金の助成

##### ① 特定研究

- ・ 総事業費 400 万円程度
- ・ 助成件数 4 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 100 万円以内
- ・ 募集テーマ

A : 防災・減災に関する研究 (新テーマ)

B : 環境保全に関する研究

C : 地域活性化に関する研究

##### ② 一般研究

- ・ 総事業費 400 万円程度
- ・ 助成件数 8 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 50 万円以内

#### (2) 日程

- ・ 募集期間 平成 27 年 3 月 3 日～4 月 10 日
- ・ 選考委員会開催 平成 27 年 5 月 12 日
- ・ 理事会にて承認 平成 27 年 5 月 15 日

#### (3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

##### ① 特定研究

応募総数 5 件

助成実施件数 3 件

助成金額 287.66 万円

##### ② 一般研究

応募総数 23 件

助成実施件数 11 件

助成金額 544.7 万円

**環境研究助成事業合計**

**助成実施件数 14 件**

**助成金額 832.36 万円**

## (4)助成対象者

## ①特定研究

(単位：円)

所属機関	氏名	研究テーマ	助成金額
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	樋口輝久	近世福山藩によって築造された別所砂留の保存・活用に向けた実態調査	1,000,000
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	赤穂良輔	市街地レイアウトを考慮した津波の遡上解析と避難シミュレーションの結合手法の開発	924,000
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	金尾忠芳	環境微生物である鉄硫黄酸化細菌を有効利用するための基盤研究	952,600
合計 3件			2,876,600

(注) 所属機関、役職名は申請時現在。

## ②一般研究

(単位：円)

所属機関	氏名	研究テーマ	助成金額
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	廣部 宗	林冠木伐採による放置落葉広葉樹二次林の再生初期過程	500,000
岡山県農林水産総合センター生物科学研究所	裏地美杉	放線菌フェルラ酸エステラーゼによる未利用バイオマス細胞壁分解法の確立	500,000
岡山大学大学院 自然科学研究科	岸本 昭	靱殻発泡剤を用いた高信頼性耐火断熱材の作製	500,000
岡山理科大学 理学部	石原浩二	生態系を酵素レベルで模倣した酵素複合反応系を用いるバイオリファイナリー技術の開発と資源再利用への応用	500,000
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	鈴木和将	廃棄物最終処分場における多成分多相流の数値シミュレーション手法の構築	500,000
岡山大学大学院 自然科学研究科	西村美保	緑藻における酸素発生系の改変がもたらす光合成機能への影響	500,000
就実大学薬学部	坪井誠二	岡山産雄町米および米糠を用いた快眠を導く機能性食品の開発	500,000
岡山大学資源植物科学研究所	近藤秀樹	本邦の稀少ラン科植物に発生するウイルスの性状解明と遺伝子診断技術の開発	500,000
岡山大学資源植物科学研究所	江崎文一	<i>AvSAMS1</i> 遺伝子を介したエピジェネティックな遺伝子発現制御とアルミニウム (Al) ストレス耐性機構との関わりについて	477,000
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	後藤丹十郎	廃棄可能有機物固化培地を用いたバラの養液栽培方法の開発	470,000
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	宮崎祐子	シカの食害による林床環境の改変がテンナンショウ属の性転換と個体群動態に与える影響	500,000
合計 11件			5,447,000
環境研究助成事業合計14件			8,323,600

(注) 所属機関、役職名は申請時現在。

## 1-2. 国際研究交流助成事業

平成 27 年度 国際研究交流助成事業を下記のとおり実施した。

### (1) 募集内容

環境科学に関する海外研究集会への参加、又は海外研究者の招聘にかかる渡航費用等の助成

- ・総事業費 80 万円程度
- ・助成件数 4 件程度
- ・助成金額 1 件あたり 20 万円以内

### (2) 日程

- ・募集期間 平成 27 年 3 月 3 日～4 月 10 日
- ・選考委員会開催 平成 27 年 5 月 12 日
- ・理事会にて承認 平成 27 年 5 月 15 日

### (3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

応募総数 2 件（派遣）

助成実施件数 2 件

助成金額 40 万円

### (4) 助成対象者

（派遣）

（単位：円）

所属機関	氏名	参加会議名 講演又は発表の表題	形態	開催地	助成 金額
岡山大学大学院 環境生命科学研究科	吉田圭介	第 36 回 国際水理学会 全世界会議	発表	オランダ	200,000
岡山大学大学院 自然科学研究科	浅子壮美	2015 環太平洋国際化学会議	発表	アメリカ	200,000
合計 2件					400,000

（注）所属機関、役職名は申請時現在。

## 1-3. 研究集会助成事業

平成 27 年度開催の研究集会助成事業を下記のとおり実施した。

### (1) 募集内容

平成 27 年 10 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに岡山県内で開催される環境科学に関する研究集会等に対する助成

- ・総事業費 90 万円程度
- ・助成件数 3 件程度
- ・助成金額 1 件あたり 30 万円以内

(2) 日程

- ・ 募集期間 平成 27 年 3 月 3 日～4 月 10 日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

応募総数 0 件

#### 1-4. 追加募集（国際研究交流助成事業）

平成 27 年度 国際研究交流助成事業の追加募集を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

環境科学に関する海外研究集会への参加、又は海外研究者の招聘にかかる渡航費用等の助成

- ・ 総事業費 40 万円程度
- ・ 助成件数 2 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 20 万円以内

(2) 日程

- ・ 募集期間 平成 27 年 10 月 3 日～4 月 10 日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

応募総数 0 件

#### 1-5. 追加募集（研究集会助成事業）

平成 27 年度 研究集会助成事業の追加募集を下記のとおり実施した。

(1) 募集内容

平成 28 年 5 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに岡山県内で開催される環境科学に関する研究集会等に対する助成

- ・ 総事業費 30 万円程度
- ・ 助成件数 2 件程度
- ・ 助成金額 1 件あたり 30 万円以内

(2) 日程

- ・ 募集期間 平成 27 年 11 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日
- ・ 書面審査による選考 平成 27 年 12 月 1 日～平成 27 年 12 月 11 日

(3) 応募件数、助成実施件数及び助成金額

応募総数 1 件  
助成実施件数 1 件  
助成金額 30 万円

(4)助成対象者

(単位：円)

所属機関	氏名	研究集会名（主催機関名）	開催地	助成金額
岡山大学大学院 生命環境科学研究科	珠玖隆行	第51回地盤工学研究発表会	岡山	300,000
研究集会助成事業合計 1件				300,000

(注) 所属機関、役職名は申請時現在。

## 2. その他の事業

### 2-1. 環境科学啓発事業（20万円）

小中高生の科学に対する関心離れや一般人の環境科学の啓発を目的に、岡山県内において広く活動している団体等に対して、ホームページにより公募した。結果、「岡山市少年少女発明クラブ」2件の応募があり、その2件を採択した。

(1)助成対象者

(単位：円)

所属機関	氏名	参加会議名 講演又は発表の表題	助成金額
岡山市教育振興会・ 岡山市少年少女発明 クラブ	水田雅明	クラブ員（小学校4～6年生）を対象にして、エネルギーを生む仕組みを体験したり情報を集めたりする活動を試みる。	100,000
中国地質調査業協会 岡山県支部	木村隆行	市民フォーラムの開催 「岡山の地質・地盤のメリットとデメリット」	100,000
合計 2件			200,000

((注) 所属機関、役職名は申請時現在。

### 2-2. シンポジウム等の開催事業（研究成果発表会開催）

研究成果発表会を、「おかやま教育の日」協賛事業として、以下のとおり開催した。

開催日	発表者	開催場所	参加者数	入場料金
平成27年11月2日	平成26年度環境研究助成事業の 助成対象者10名	岡山大学創立五十周年記念 館	80名	無料

### 2-3. 出版物の編集・刊行事業（研究レポート集刊行）

平成 26 年度助成対象者の研究助成報告書等に基づき、平成 27 年 10 月に「研究レポート集 2015 (第 16 号)」を刊行、300 部作成し、岡山県内の研究機関、図書館等へ無料で配布した。



「研究レポート集 2015 (第 16 号)」

## Ⅱ. 処 務 の 概 要

### 1. 役員他に関する事項

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

役 職	氏 名	就任年月日	現 職
理事長 理事	小谷 裕司	平成 26 年 5 月 26 日	(株)エイト日本技術開発代表取締役社長
	河野 伊一郎	平成 26 年 5 月 26 日	倉敷芸術科学大学学長
	赤木 靖春	平成 26 年 5 月 26 日	学校法人加計学園専務理事
	沖 陽子	平成 26 年 5 月 26 日	岡山大学副学長・大学環境生命科学研究科教授
	辻 英明	平成 26 年 5 月 26 日	岡山県立大学学長
	佐藤 豊信	平成 26 年 5 月 26 日	岡山商科大学大学院経済学研究科教授
	伊丹 文雄	平成 26 年 5 月 26 日	E・Jホールディングス(株)顧問
監事	西田 秀史	平成 26 年 5 月 26 日	弁護士
	石村 顕示	平成 26 年 5 月 26 日	税理士
	小谷 浩治	平成 26 年 5 月 26 日	(株)エイト日本技術開発管理本部副本部長
評議員	本水 昌二	平成 24 年 10 月 1 日	岡山大学名誉教授
	杉尾 剛	平成 24 年 10 月 1 日	岡山大学名誉教授・杉尾化学合成独立栄養細菌研究所所長
	波田 善夫	平成 24 年 10 月 1 日	岡山理科大学学長
	西垣 誠	平成 24 年 10 月 1 日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	阿部 宏史	平成 24 年 10 月 1 日	岡山大学理事・副学長
	鳥越 良光	平成 24 年 10 月 1 日	岡山商科大学名誉教授
	岩田 正晴	平成 24 年 10 月 1 日	ロック地域計画事務所 代表
	谷本 俊夫	平成 24 年 10 月 1 日	共立工営(株)顧問
藤井 勉	平成 24 年 10 月 1 日	(株)エイト日本技術開発取締役	
選考委員	稲井 寛	平成 26 年 6 月 1 日	岡山県立大学情報工学部教授
	坂本 圭児	平成 26 年 6 月 1 日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	星野 卓二	平成 26 年 6 月 1 日	岡山理科大学総合情報学部長
	大久保賢治	平成 26 年 6 月 1 日	岡山大学大学院環境生命科学研究科教授
	神崎 浩	平成 27 年 10 月 1 日	岡山大学大学院環境生命科学研究科長
	永井 泉治	平成 26 年 6 月 1 日	(株)エイト日本技術開発 執行役員インフラ保全センター長

### 2. 職員に関する事項

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

役 職	氏 名	採用年月日	給与	担当事務	備考
事務局	小谷 満俊	平成26年6月1日	無給	企画及び総務	兼任
〃	二木 里美	平成26年6月1日	無給	企画及び総務、経理及び財務	兼任



### 3. 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
平成 27 年 5 月 15 日	現在数 7 名 書面決議	1. 平成 26 年度事業報告の件 2. 平成 27 年度助成事業承認の件 3. 平成 27 年度環境科学啓発事業承認の件 4. 評議員会の提案議案（案）の件	可決 可決 可決 可決
平成 27 年 7 月 31 日	現在数 7 名 書面決議	1. 選考委員 1 名選任の件	可決
平成 28 年 3 月 1 日	現在数 7 名 本人出席 5 名	1. 平成 28 年度事業計画及び収支予算等の件 2. 平成 28 年度助成事業募集要項の件 3. 平成 28 年度環境科学啓発助成事業 募集要項の件 4. 評議員会の開催の件 5. 株式会社八雲の定時株主総会の件	可決 可決 可決 可決 可決

#### (2) 評議員会

開催年月日	出席者数	議事内容	会議の結果
平成 27 年 6 月 2 日	現在数 9 名 本人出席 8 名	1. 平成 26 年度事業報告の件 2. 平成 27 年度助成事業に関する件 3. 平成 27 年度環境科学啓発事業に関する件	可決 可決 可決
平成 28 年 3 月 1 日	現在数 9 名 本人出席 9 名	1. 平成 28 年度事業計画及び収支予算等の件 2. 平成 28 年度助成事業募集要項の件 3. 平成 28 年度環境科学啓発助成事業 募集要項の件	可決 可決 可決

### 4. 行政庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当事項はありません。

### 5. 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
平成 27 年 4 月 1 日	株式会社エイト日本技術開発	財団事務を月額 50,000 円にて委託する。

### 6. 寄付金に関する事項

寄附目的	種類	数	領収金額
〃	個人	1	5,000 円

### 7. 行政庁の指示に関する事項

該当事項はありません。

### 8. 税法上の収益事業に関する事項

該当事項はありません。

9. その他重要な事項

該当事項はありません。

# 貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,708,986	581,148	1,127,838
流動資産合計	1,708,986	581,148	1,127,838
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	47,912,000	47,912,000	0
投資有価証券	221,239,436	221,329,224	△ 89,788
基本財産合計	269,151,436	269,241,224	△ 89,788
固定資産合計	269,151,436	269,241,224	△ 89,788
資産合計	270,860,422	269,822,372	1,038,050
II 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	269,151,436	269,241,224	△ 89,788
指定正味財産合計	269,151,436	269,241,224	△ 89,788
(うち基本財産への充当額)	(269,151,436)	(269,241,224)	89,788
2. 一般正味財産	1,708,986	581,148	1,127,838
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	270,860,422	269,822,372	1,038,050

貸借対照表内訳表  
(平成28年3月31日現在)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金		1,708,986		1,708,986
流動資産合計		1,708,986		1,708,986
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	33,538,400	14,373,600		47,912,000
投資有価証券	94,167,605	127,071,831		221,239,436
基本財産合計	127,706,005	141,445,431		269,151,436
固定資産合計	127,706,005	141,445,431		269,151,436
資産合計	127,706,005	143,154,417		270,860,422
II 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	127,706,005	141,445,431		269,151,436
指定正味財産合計	127,706,005	141,445,431		269,151,436
(うち基本財産への充当額)	(127,706,005)	(141,445,431)		△ 269,151,436
2. 一般正味財産		1,708,986		1,708,986
(うち基本財産への充当額)				
正味財産合計	127,706,005	143,154,417		270,860,422

# 正味財産増減計算書

(平成27年4月1日より平成28年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	12,311,977	9,231,447	3,080,530
基本財産受取利息	1,361,977	831,447	530,530
基本財産受取配当	10,950,000	8,400,000	2,550,000
②受取寄付金	5,000	1,055,000	△ 1,050,000
受取寄付金	5,000	1,055,000	△ 1,050,000
④雑収益	897	2,006	△ 1,109
受取利息	897	2,006	△ 1,109
経常収益計	12,317,874	10,288,453	2,029,421
(2) 経常費用			
①事業費	9,887,200	9,090,253	796,947
研究支払助成金	9,223,600	7,211,000	2,012,600
会場費	167,880	837,053	△ 669,173
印刷製本費	495,720	1,042,200	△ 546,480
②管理費	1,302,836	1,497,014	△ 194,178
事務委託料	600,000	600,000	
会議費	303,324	333,202	△ 29,878
旅費交通費	185,000	289,130	△ 104,130
印刷製本費	6,912	25,650	△ 18,738
通信運搬費	51,555	57,102	△ 5,547
消耗品費	9,343	8,183	1,160
租税公課		960	△ 960
雑費	146,702	182,787	△ 36,085
経常費用計	11,190,036	10,587,267	602,769
当期経常増減額	1,127,838	△ 298,814	1,426,652
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	1,127,838	△ 298,814	1,426,652
一般正味財産期首残高	581,148	879,962	△ 298,814
一般正味財産期末残高	1,708,986	581,148	1,127,838
II 指定正味財産増減の部			
投資有価証券受贈額		17,000,000	△ 17,000,000
基本財産受取利息	△ 89,788	321,349	△ 411,137
当期指定正味財産増減額	△ 89,788	17,321,349	△ 17,411,137
指定正味財産期首残高	269,241,224	251,919,875	17,321,349
指定正味財産期末残高	269,151,436	269,241,224	△ 89,788
III 正味財産期末残高	270,860,422	269,822,372	1,038,050

正味財産増減計算書内訳表  
(平成27年4月1日より平成28年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	11,147,384	1,164,593		12,311,977
基本財産受取利息	197,384	1,164,593		1,361,977
基本財産受取配当	10,950,000			10,950,000
②受取寄付金	5,000			5,000
受取寄付金	5,000			5,000
④雑収益	897			897
受取利息	897			897
経常収益計	11,153,281	1,164,593		12,317,874
(2) 経常費用				
①事業費	9,887,200			9,887,200
研究費支払助成金	9,223,600			9,223,600
会場費	167,880			167,880
印刷製本費	495,720			495,720
②管理費	570,158	732,678		1,302,836
事務委託料	420,000	180,000		600,000
会議費		303,324		303,324
旅費交通費		185,000		185,000
印刷製本費	4,838	2,074		6,912
通信運搬費	36,089	15,467		51,555
消耗品費	6,540	2,803		9,343
租税公課				
雑費	102,691	44,011		146,702
経常費用計	10,457,358	732,678		11,190,036
当期経常増減額	695,923	431,915		1,127,838
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額	695,923	431,915		1,127,838
一般正味財産期首残高	△ 1,245,288	1,826,436		581,148
一般正味財産期末残高	△ 549,365	2,258,351		1,708,986
II 指定正味財産増減の部				
投資有価証券受贈額				
基本財産受取利息	△ 62,852	△ 26,936		△ 89,788
当期指定正味財産増減額	△ 62,852	△ 26,936		△ 89,788
指定正味財産期首残高	127,768,857	141,472,367		269,241,224
指定正味財産期末残高	127,706,005	141,445,431		269,151,436
III 正味財産期末残高	127,156,640	143,703,782		270,860,422

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項はありません。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法

その他の有価証券

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

#### (2) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

### 3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

### 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	47,912,000	0	0	47,912,000
投資有価証券	90,329,224	0	89,788	90,239,436
投資有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
投資有価証券	14,000,000	0	0	14,000,000
投資有価証券	17,000,000	0	0	17,000,000
合 計	269,241,224	0	89,788	269,151,436

### 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	47,912,000	(47,912,000)	0	0
投資有価証券	90,239,436	(90,239,436)	0	0
投資有価証券	100,000,000	(100,000,000)	0	0
投資有価証券	14,000,000	(14,000,000)	0	0
投資有価証券	17,000,000	(17,000,000)	0	0
合 計	269,151,436	(269,151,436)	0	0

### 6. 担保に供している資産

該当事項はありません。

### 7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項はありません。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当事項はありません。

9. 保証債務（保証債務を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当事項はありません。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりであります。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
SMBC日興証券株式会社 第762号利付商工債(4年)	90,239,436	90,558,000	318,564
大和証券株式会社 株式会社三井住友銀行 第26回期限前償還条項付無担保社債 (劣後特約付)(10年)	100,000,000	100,520,000	520,000
合計	190,239,436	191,078,000	838,564

(H28. 3. 31)

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当事項はありません。

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当事項はありません。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項はありません。

15. 重要な後発事象

該当事項はありません。

16. その他

該当事項はありません。



## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳に記載のとおりであります。

### 2. 引当金の明細

該当事項はありません。

財 産 目 録  
(平成28年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額	
(流動資産)	現金		運用資金として使用している	87,662	
	預金	普通預金	運用資金として使用している		
		三井住友銀行岡山支店		1,344,837	
		中国銀行奉還町支店		276,487	
流動資産合計				1,708,986	
(固定資産)	基本財産	定期預金	三井住友銀行岡山支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業(70%)、管理業務(30%)で使用している共用資産である。	47,912,000
		投資有価証券	SMBC日興証券株式会社 第762号利付商工債(4年)	公益目的保有財産であり、公益目的事業(70%)、管理業務(30%)で使用している共用資産である。	90,239,436
			(株)八雲株式優先株式280株	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	14,000,000
			(株)八雲株式普通株式340株	運用益を公益目的事業の財源として使用している。	17,000,000
			大和証券株式会社 株式会社三井住友銀行 第26回期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)(10年)	公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動のように供する財産として、運用益を管理費の財源に充てている。	100,000,000
固定資産合計				269,151,436	
資産合計				270,860,422	
正味財産				270,860,422	